

網目拡大によるバイ貝の資源保護

研究分野

水産資源を管理・利用する

ねらい

- ・ 富山県で水揚げされているバイ貝（深海性エゾバイ科巻き貝）には、ツバイ、オオエッチュウバイ、カガバイ、チヂミエゾボラの少なくとも4種類が含まれますが、これらの漁獲量は近年減少傾向にあります。
- ・ 資源管理の方法について検討するために、バイ貝4種のうちで漁獲量の最も多いツバイについて、漁獲実態や生態に関する調査を行いました。

成果

- ・ 生殖腺の発達状況を調べたところ、雄は殻高（貝殻の軸に沿った最も長い部分の長さ）3cm以上で、雌は4.5cm以上で成熟すると考えられました。
- ・ 県内の市場に水揚げされるツバイの大きさを調べたところ、殻高は約2～7cmの範囲にあり、雌雄とも未成熟な個体が漁獲されていました。殻高3cm未満の小型サイズの平均価格は250円/kgであり、それ以上のサイズ（1000円/kg以上）と比較して非常に安価でした。
- ・ 漁具（バイかご）の網目の大きさを変えることによって、ツバイの漁獲サイズがどのように変化するか調べたところ、網目が9節（網目を示す単位で、節数が小さくなるほど目合は大きくなる）以上であれば、殻高3cm未満の小型個体がほとんど抜け落ちることが分かりました。

活用

- ・ 漁業の経営にも配慮しつつ、資源を保護するためには、殻高3cm未満の未成熟個体を保護するのが良いと判断されました。
- ・ かごの網目を9節以上に拡大することにより、そのような小型個体の漁獲を抑制できることから、資源管理の方法として実践されることとなりました。

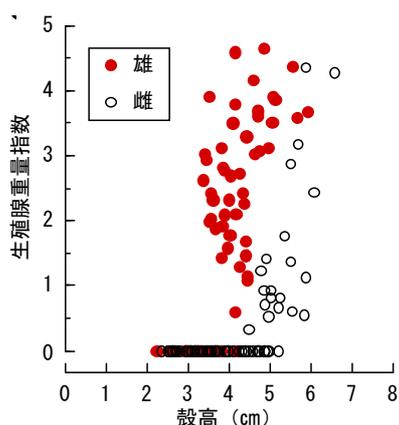


図1 ツバイの殻高と生殖腺重量指数（生殖腺重量/体重×100）の関係。生殖腺重量指数が高いほど成熟が進んでいる。

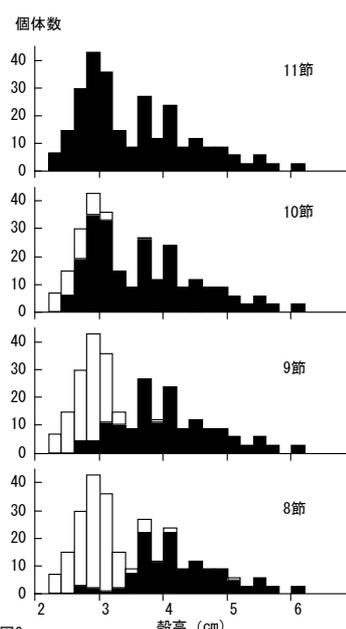


図2 網目選択性実験におけるツバイの殻高組成。白抜き部分は網目から抜け落ちたツバイの殻高組成を示した。

研究実施期間 平成11年度～平成17年度
問い合わせ先 富山県水産試験場(076-475-0036)